

令和8年度 アオコ情報（西浦 No. 1）

7月1日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度※¹ は、地点①がアオコレベルで3相当※²、牛込沖、地点②及び玉造沖がアオコレベルで1相当、掛馬沖、木原沖及び高浜沖がアオコレベルで0相当でした。

湖内のアオコレベル

- ・ 西浦の地点①でアオコレベル3相当（フィコシアニン濃度：981 µg/L）、牛込沖、地点②及び玉造沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：57～114 µg/L）でした。
- ・ そのほかの地点では、アオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：11～45 µg/L）でした。

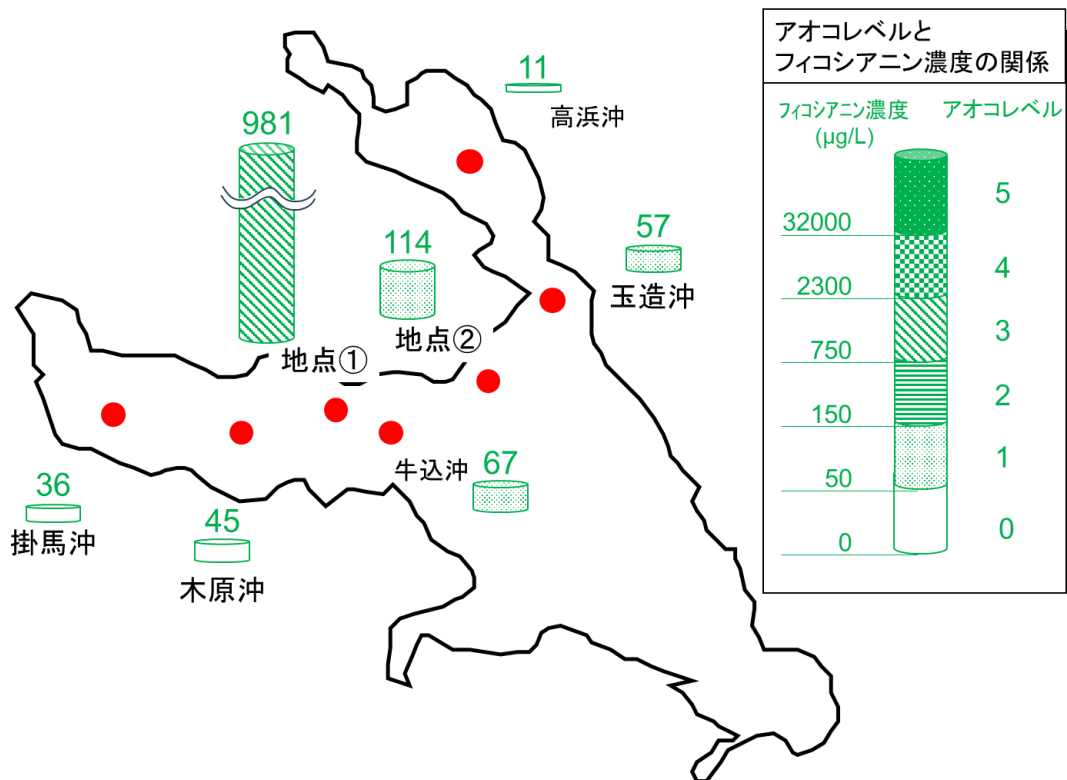


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

地点	掛馬沖	木原沖	地点①	牛込沖	地点②	玉造沖	高浜沖
採水時刻	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日
	9:12	9:28	11:27	9:45	11:05	10:25	10:40
水温 (°C)	25.2	24.5	24.8	24.6	25.0	25.0	24.9
pH	8.6	8.6	9.2	9.0	8.9	9.1	9.2
EC (mS/m)	28.3	30.8	32.1	32.3	31.6	30.9	28.8
透視度 (cm)	32	40	23	> 50	46	31	25
フィコシアニン (μg/L)	36	45	981	67	114	57	11
クロロフィル a (μg/L)	51	39	228	37	57	69	36

● (参考) アオコレベル (https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000042117.pdf)

